

赤高だより

NOV
Vol.113

10.8 (火) 「下町ロケット」植松努社長の思いを胸に



池井戸潤作「下町ロケット」のモデルで北海道の植松電機の植松社長が来校され、全日制1・2年と定時制の生徒に向けて講演してくださいました。植松社長はロケットに対する強い思いが人との出会いを招いたことを熱く語られ、生徒たちも挑戦する勇気をもったようでした。講演後、中庭でロケットを打ち上げました。



10.25 (金) 生き方を考える座談会

1年生の生徒が、6時間目に赤穂市内で活躍されている先輩方を中心に教育・福祉・医療・農業・販売・研究職・公務員など13講座に分かれ自分の興味・希望の進路に合わせ、座談会形式で話を聞きました。

現在、教育委員会に勤められている先輩から教員の仕事についての話を聞いて、そのやりがいを感じた生徒や、高校の時に理科数学が好きになり、研究を続けたくて薬品会社に入社された方の話を聞き、影響を受けた生徒等、講師の体験談が生徒たちの胸を打ち、進路への思いを育ててくださいました。



10.26 (土) 赤穂市民文化祭に図書部・吹奏楽出演

赤穂市立ハーモニー小ホールで開催された赤穂市民第64回音楽と朗読の調べに本校図書部と吹奏楽部が特別出演しました。図書部は毎週2回放課後の図書整理に加え、赤穂市立図書館の朗読の会の皆さん



と交流し、朗読に取り組んでいます。今回は会の皆さんと紙芝居「かぐや姫」に出演しました。吹奏楽部も「鉄腕アトム」「明日も」を演奏し、会を盛り上げました。



赤高 Web ページもチェック

編集は赤穂高校生徒会広報委員会

https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/ako-hs/NC3/ako_home

